

県医労新聞

2013年8月
盛岡市内丸11番1号
岩手県医療局労働組合
電話 019-623-8271
FAX 019-623-8273
URL <http://www.iwate-ken-irou.org/>

編集発行人
中 野 るみ子
毎月1回発行1877号(月刊92号)



県医労第69回定期大会 (6月21日～22日 盛岡市「湯守 ホテル大観」)

目次

1P～4P

第69回定期大会

5P 支部定期大会

6P 増員署名キャラバン

7P～8P

女性部ニュース

9P 看護部ニュース

10P つぶやき、とんがらし

6月号パズル当選者

11P 職場川柳 懸賞パズル

8・9月の予定 お知らせ



7月18日 一戸支部定期大会

大幅増員署名を組合員一丸で!!

= 県医労第69回定期大会 =

県医労第69回定期大会は6月21、22日の2日間盛岡市つなぎ「湯守ホテル大観」で開催されました。16支部114名の代議員・オブザーバーが出席。職場状況などが報告され、今年1年の運動方針が決定されました。

第1号議案

2012年度財政報告 並びに会計監査報告

一般会計の当月分当月納入について、4支部で翌月になったとの一部訂正がありました。財政報告は、満場の拍手で承認されました。

第2号議案

2013年度運動方針

■大幅増員

久慈支部

病休・産休者が出ると業務がまわらない。外来からの時間単位の応援でしのいでいる。具合が悪くても休めない。「やめたい」の言葉が出ている。大幅増員運動を声を上げてアピールする決意だ。



運動方針を提案する〇〇書記長

夜勤できる人を募集しているが、夜勤できずに辞めて行く人が多い。外来から病棟に3名応援に行っている。

胆沢支部

病院全体で病休・産休者等が86名。補充がないため病棟日勤の帰宅時間が、22時から23時。9回夜勤発生防止のため夜勤体制を4から4-3へ引き下げた病棟もある。このままではメンタル疾患など、さらに病休者が増える。年次もとれない。今すぐ増員が必要だ。増員が無理なら10対1への変更を。もう待てない。組合の存在意義が問われる。

中部支部

「あそここの病棟は年次を多くとっている。やる気がない。私が行ったら指導しなければ」と師長が発言。病休後に痛みのため年次を多くとった人がいた病棟だ。毎月病休者が出ている。

釜石支部

妊娠4週で切迫。土曜日の病休発生で、「そんなんでも看護師やれるんだね」

と若いスタッフの前で言うべきでない発言もあった。体調不良でも「午後から出てこれないの?」と1日休むだけでも師長がパニック。退職者ができるのも仕方ないと思う。モチベーションも下がる。

千厩支部

「年次」と希望を書いても夏季休暇にされた。病休・育児時間などで慢性的な人手不足。

一戸支部

医師不足。精神科は院長を含め当直が10回超えている。看護師も一人が二戸へ応援に。このまま応援体制を続けられるわけではない。

県医労友の会

友の会も増員署名に協力したい。

一戸支部

大幅増員署名宣伝行動に宣伝カーの貸し出しは可能か。本部と支部の連絡を密にしていかなないと厳しい。

■超過勤務・36協定

久慈支部

36協定締結後、超勤を書けない職場が増えている。上司の残業を書かせない言動が続いている。負けないで書くことが大変さをアピールできる手段。頑張ります。

釜石支部

5月に超勤を正直に書いたら40時間を超え、師長から言葉を選びながら注意された。日勤も22時過ぎま



発言する釜石支部〇〇〇代議員

で。休憩時間もしつかりとれず、疲れはたまる一方だ。

宮古支部

1病棟閉鎖となり3ヶ月がたった。日勤は21、22時に帰り、夜勤でも1、2時間の残業がある。

二戸支部

すでに今年度2名退職。一人は超勤が多く家族にやめるよう勧められた。もう一人は4月新採用。病休の面談で「退職する」と言ってしまった。

5月から超勤について知り書くようになった。超勤が続くときは減らして書いている。超勤の対応は、上司により異なる。

中央支部

36協定締結後、4月から20時間超えが減っている。書けないのではと心配。時間外の研修で師長に確認して超勤を書いたが取り消された。取り消されないよう理由を言えるようにしたい。



団結交流集会にて

中部支部

育児時間のスタッフ多くフォローする人も超勤に。月・水・金に定時退庁をつけているが帰れない。

磐井支部

昼休みも取れず定時で帰れない。超勤が書けず月20時間超えている人が少ない。

遠野支部

新人と仕事をして超勤を書いたところ「新人はまだ書かないように。時間で帰すように」と言われた。書かないで残っているときに

は何も言わない。

千厩支部

新人の超勤について、昨年師長が面接で「6月までは書けないのよ」と言った。総師長に確認し各師長へ書かせるよう周知させた。

■パワハラ

遠野支部

医師のパワハラに対し職場の看護師一同で要請文を提出。その後、突然医師が退職。検査や診察の予約に対し、近隣病院の応援でのいだ。組合としての介入のタイミングが難しかった。

久慈支部

上司のパワハラについて衛生委員会が指導改善を要望するが改善されない。「上司によるパワハラ防止」の研修をさせるべきだ。

中央支部

上司のパワハラがひど

い。人前での激しい叱責は日常的。提出物を投げることも。休み希望が通らず、体調不良でも休めない。年次をもらえる人が決まっている。超勤を書いても取り消される。昨年数名退職したが、パワハラが原因だと思う。

■夜勤専従・9回夜勤

南光支部

夜勤専従で夜勤回数が減ったが、別の病棟で9回夜勤が発生時に、夜勤専従以外の夜勤応援が考えられる。夜勤専従者個人が頑張ればよいという問題ではなくなる。

中央支部

5月から夜勤専従は10名。2名に感想を聞いた。「体調は問題なし。看護協会の仕事があり休んだ気がしない」「師長の顔を見なくて済むのがいい」と。



発言する二戸支部〇〇代議員

期間は代理で対応し中途半端。責任の所在がない。

釜石支部

5月から夜勤専従が1人いる。日勤の超勤が続き、夜勤専従を希望する声が聞かれる。先月、師長が「あなた専従どう？」と聞いていた。

大船渡支部

3、4名試行。体調は「楽だ」と。7月から、亜急性期病棟開始。

久慈支部

夜勤専従看護師試行で、8回夜勤は守れるが、日勤の負担が増えている。夜勤の負担が増えるのではと懸念。看護必要度から判断され、他病棟へ応援を出しているが、看護必要度に反映されない排尿時の付き添いなど人手が必要。増員が必要。

夜勤専従の説明時、師長が手当や休みが増える等とアピールしていた。もし夜勤専従者が休んだら代わりが大変。夜勤応援が始まらないか心配。委員会は専従

二戸支部

4月からすべての病棟で、9回、10回夜勤発生。一戸、軽米、久慈病院から応援をもらっている。

■調理業務

大船渡支部

調理師も、超過勤務が続く、体調不良者続出。来年度以降、業務委託を進める計画も出されているが、調理師退職分を正規で補充をしてほしい。

一戸支部

調理の業務委託の話が現場から聞こえてくる。業務委託阻止を本部・現場と連携しながら進めたい。

千厩支部

H28年度から調理業務が全面委託されるらしい。震災後大東病院からの委託の調理師を「パート採用」している。患者数の増加に伴い、早出をしている。通勤

時間を考えると、朝3時に家を出る人もいる。早番手当を復活してほしい。

■その他

釜石支部

臨時・パートについて、ボーナスなど待遇に大きな差がある。会議には出ていないが、現場をささえている。待遇改善を。

副院長に看護職の本格的な取り組みを。

県医労友の会

地域医療を守る運動する



発言する久慈支部〇〇〇代議員

ために、組織を強化したい。友の会入会への協力を。

宮古支部

1病棟休止と同時に補助者夜勤が始まった。50才すぎた方が夜勤をしており、過酷ではないかと思っている。

Ⅱ総括答弁Ⅱ

過酷な現場の状況が数多く報告された。超過勤務を書くことへの圧力が強まっている。ただ働きをさせないよう当局の責任も追及していく。夜勤専従は有害であり、9回夜勤解消の根本的な解決にならない。夜勤専従を選択した背景や動機に寄り添い問題の解決に向けて交渉していく。

人手不足解消が大きな課題。大幅増員署名を組合員一丸となり取り組むことが確認できた。宣伝カーは、貸し出しできるので使って

ほしい。

第3号議案

県医労規約・規程の一部改正

■組合加入申込書の一部変更
投票総数85票中賛成84票・反対0票・白票1票で採択されました。

■再任用となる職員の組合脱退に関する追記
投票総数85票中、賛成74

2013年度統制委員

選出区分	氏 名	所属支部
北部地区	〇〇〇〇〇	中 央
中部地区	〇〇〇〇〇	胆 沢
三陸地区	〇〇 〇〇	宮 古
南部地区	◎〇〇 〇〇	千 厩
執 行 部	〇〇 〇〇	本 部

2013年度犠牲者救済委員

選出区分	氏 名	所属支部
北部地区	◎〇〇 〇	二 戸
中部地区	〇〇 〇〇	中 部
三陸地区	〇〇〇〇〇	釜 石
南部地区	〇〇 〇〇	大船渡
執 行 部	〇〇 〇〇	高 田
執 行 部	〇〇 〇〇	中 部

※「◎」は委員長

票・反対7票・白票4票で採択されました。

■臨時・パート職員、院内保育所で働く職員に係る組合費の変更
投票総数85票中賛成80票・反対4票・白票1票で採択されました。

第4号議案

永年組合員の表彰

13支部40名の被表彰者を拍手で承認しました。記念

品として秀衡塗りのワイングラスを贈呈します。

第5号議案

2013年度財政方針
満場一致で採択されました。

第6号議案

2013年度役員及び各種委員の選出

今年度の本部役員、統制



団結頑張ろう！

2013年度本部役員選挙・信任投票結果

投票総数 85票

役員名	定数	立候補者氏名	信任	不信任	白票	無効
中央執行委員長	1	〇 〇 〇〇〇	83	2	0	0
副中央執行委員長	2	〇 〇 〇 〇	84	1	0	0
		〇〇〇 〇〇〇	84	1	0	0
書 記 長	1	〇 〇 〇	84	1	0	0
書 記 次 長	1	〇 〇 〇 〇	84	1	0	0
中 央 執 行 委 員	11	〇 〇 〇 〇	85	0	0	0
		〇 〇 〇 〇	85	0	0	0
		〇 〇 〇 〇	85	0	0	0
		〇 〇 〇 〇	85	0	0	0
		〇 〇 〇 〇	85	0	0	0
		〇〇〇 〇 〇	81	4	0	0
		〇 〇 〇	85	0	0	0
		〇 〇 〇 〇	85	0	0	0
		〇 〇 〇 〇	85	0	0	0
		〇 〇 〇 〇	82	3	0	0
		〇 〇 〇 〇	85	0	0	0
会 計 監 査 委 員	3	〇 〇 〇〇〇	84	1	0	0
		〇〇〇 〇 〇	85	0	0	0
		〇 〇 〇 〇	85	0	0	0

委員、犠牲者救済委員は、表の通りです。

第7号議案

2013年度特別執行委員の決定

金野耕治氏を満場の拍手

で特別中央執行委員として確認しました。

退任役員の紹介

■中央執行委員

〇〇〇〇 (中部支部)
〇〇〇〇 (南光支部)

支部定期大会で 増員署名運動を意思統一

二戸支部



二戸支部

になること、1つの病棟で4人が切迫になるなど、深刻な人手不足の現状が話題になりました。

胆沢支部

胆沢支部では7月13日に開催。支部大会議案書の表紙は、799筆集約した玄関前での「夜勤改善・大幅増員」署名の写真が使われ、今回の大幅増員署名でも頑張っていくことが確認されました。

大会直前には、〇〇支部長代理、〇〇書記次長と本部・〇〇書記長で、事務局長へ「大幅増員」運動への協力の申し入れを行い、玄関前署名での協力の快諾を得ました。



胆沢支部

一戸支部

一戸支部では7月18日に開催。大会では各分会から「時間外が書けない」「他部署からの応援を受けている。仕事ができなくなった」などの発言があり、大幅増

釜石支部

釜石支部では7月16日に開催。大会では、「特に委員会などの話し合いや実務で残った時の超過勤務が請求しにくい」などの発言があり、異動で欠員となっていた支部長など新役員を選出しました。

大会直前には、〇〇書記長、〇〇〇〇執行委員と本部・〇〇〇〇副委員長で、事務局長へ大幅増員運動への協力を要請。看護師の退職があり、遠野病院から業務応援員の必要性が確認されました。

また、大会直前には、〇〇支部長、〇〇副支部長と本部・〇〇委員長で、病院長へ大幅増員運動への協力の申し入れを行い、院長からは医師招聘での困難性が話されました。

中央支部

を受けることが話され、院内のミーティングでも組合の取り組みを紹介する、と対応しました。

中央支部では7月22日に開催し、県医労友の会・小砂子事務局長からも連帯の挨拶がありました。大会の中では「年次を非番や夏季休暇にされた」「始業前の超過勤務を請求していない」などの職場実態が報告されました。



中央支部

『県立病院の職員を増やして下さい!』

病院訪問し、署名への協力要請

県医労第69回定期大会で決定した『県立病院の職員定数拡大・大幅増員』を求める請願署名」が7月から開始しています。この署名

は9月県議会での請願・採択を目指して、全体で5万筆、組合員一人あたり10筆以上を目標に取り組んでいます。宣伝グッズとして、

7月8日からはキャラバン行動として各病院を訪ね、病院長・事務局長などに署名主旨を説明し、病院玄関前署名行動への協力を要請・懇談してきました。懇談では、「臨時で募集しても応募がない。正規で配置して欲しい」「増員はもちろん必要だが、質の確保も大切」「夜勤免除が多く、夜勤者の確保が大変」「年次をあげたいが、人手がなくて厳しい」など、

三つ折りのカラーチラシ、ポスター、のぼり旗などを作成し、署名推進ニュースも随時発行しています。

職場では病休者も相次いでおり、離職者も後を立たない状況です。このままでは、いつ自分自身も病気になるか、いつ重大な医療ミスや事故を起こしてしまうか、そんな大きな不安を抱えつつ、職員は献身的に仕事をしています。現状を打開するためにも、増員署名に組合員が一丸となって取



7.17 釜石病院前での署名行動



病院前での署名行動で活用しよう

安全・安心の医療提供のため

県立病院の
『増員署名』に
ご協力をお願いします!

＜県議会請願項目＞

1. 医療局職員定数の大幅拡大
2. 医師・看護師などの大幅増員



岩手県医療局労働組合

署名を呼びかけるポスター

増員署名への多くの賛同が得られ、人員不足の状況をなんとか改善して欲しいとの、悲鳴に近い声が多数寄せられました。

り組み、広く県民・患者に県立病院の実態を知ってもらうことが必要です。

職場では病休者も相次いでおり、離職者も後を立たない状況です。このままでは、いつ自分自身も病気になるか、いつ重大な医療ミスや事故を起こしてしまうか、そんな大きな不安を抱えつつ、職員は献身的に仕事をしています。現状を打開するためにも、増員署名に組合員が一丸となって取

釜石支部では、早速病院玄関前での署名も開始されました。他支部でも病院側に申し入れ、皆で分担して病院玄関前署名などに取り組みみましょう。これからお盆を迎え、親類縁者や同級生などと会う機会も多くなるかと思えます。ぜひ日常から署名用紙を持ち歩くなど、人の集まる機会を捉えて積極的に増員署名への協力を訴えましょう。



県医労女性部第56回定期大会

もう待てない!今すぐ増員を



○夜勤専従については「楽だ」という人もいるが、「8日夜勤の絡みもあり、準夜で朝5時まで、深夜で昼12時まで 働いてヘトヘトだった」との感想

○一人でも休みがでるとたちまち9回夜勤が発生する。10回夜勤も発生。

【発言より】

県医労女性部第56回定期大会は、7月5日から6日の二日間、つなぎ温泉のホテル紫苑を会場に、15支部・本部70名が参加して開催されました。

討論では、13支部16名から発言があり、人員不足からくるさまざまな職場の状況が出されました。

2013年度

本部女性部役員

部長	○	○	○	○	(専 従)
副部長	○	○	○	○	(中 央)
書記長	○○○	○○○			(大船渡)
委員	○	○	○○○		(宮 古)
	○	○	○○○		(二 戸)
	○○○	○	○		(中 央)
	○	○	○		(中 央)
	○	○	○○○		(江 刺)
	○	○	○		(磐 井)
	○	○	○○○		(久 慈)
	○	○	○○○		(東 和)

も寄せられている。

○勇気を出して超勤を初めて書いた。これを機会に広げていきたい。

○ブロック集会を無事に終えることができた。

○母親大会にご協力ありがとうございました。県医労OBの方の協力もあり、目標も達成できました。苦労が報われました。

○夜間の救急車が増えている。休憩も取れず、どろどろになって帰宅している。

職場の余裕のなさはパワハラやメンタル不全となっている。

○産休、部分休業を取ろうとしても夜勤を強要される。

○上司の暴言、パワハラが苦痛だ。メンタルも増えている。



機関紙コンクール

機関紙コンクールには4支部の応募がありました。それぞれに記念品と賞状が手渡されました。

二戸支部「ねえ、ちょっと」
中部支部「しらゆり」
南光支部「はこべ」
胆沢支部「いさわ」



南光支部は役員がつくっています

て、人間関係にも問題を生じています。
いまや大幅増員は欠かせない要求となっています。
大会では、子育てしながら元気に働き続けられ、思いやりの持てる職場にするためにも、県立病院の大幅増員署名に取り組むことを確認しました。
新年度役員は、新しく〇〇〇〇〇〇さん（久慈支部）と〇〇〇〇〇〇さん（東和支部）を加え定員立候補し、全員信任されました。

夜の懇親会のオープニングは、今年も県医労OBのハワイアンダンスで始まりました。優雅な動きとハワイアンの音楽が夏の到来を思わせませす。
その他、替え歌の熱唱、本部女性部役員の余興も飛び出し、ビンゴ大会で盛り上がるなど、楽しいひとときを過ごしました。

食べて 笑って 懇親会が本命？



即席の「潮騒のメモリーズ」結構ノリノリ

お子様のお膳もおいしそう！



替え歌で笑いをとった
〇〇〇〇〇〇さん（磐井支部）



オープニングの
ハワイアンダンス

ハラスメント

DV

ひとりで悩まないで

メント、モラル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメントなど、女性に対する人権侵害・差別行為として問題になっています。講演ではハラスメントの禁止や事業主の責任なども法制化されてきているが、まだまだ悩み、苦しんでいる女性が多くおり、もりおか女性センター

記念講演
は、もりおか女性センター、センター長の田端八重子さんが、「ハラスメントとDVの現状」について話されました。そして、DV、ハラスメントは個人的な問題ではなく社会的な問題であること、女性の自立、とくに経済的自立も重要であると強調しました。身近な問題であるだけに参加者からも質問があり、「我慢せず、勇気を持って相談することも大事だということがわかった」という感想も寄せられました。



講演する田端八重子さん



講師の窪倉みさ江さん

「特定行為に関わる研修制度」が国会で成案されようとしています。これは、医師の具体的指示があれば、難易度も高く、判断も難しい医行為「特定行為」を一般看護師にも求めるという中身です。この制度の問題点と課題を明らかにし

ストップ特定看護師④ 現場から反対の声を

医労連・民医連共催学習会開催

ようと、岩手民医連看護委員会と岩手医労連看護対策委員会の初の共催による学習会が7月6日、盛岡市「水産会館」で開催されました。参加者は全体で75名、県医師からは10支部・本部23名が参加しました。講師は、窪倉みさ江さん（看護師・全日本民医連副会長）。

この制度のねらいについて、「医師不足を背景に、保助看法の改正だけで、看護業務を医行為まで拡大し、医師の肩代わりをさせ、安上がりの医療を行おうとするもの」と指摘。現場はこれまで以上の業務拡大で看護師が働き続けられない職場になること、安全性や

責任の所在、看護本来の業務である「療養上の世話」が軽視される危険、看護師の階層化で医師・看護師不足は解決されずむしろ深刻になることなどを「特定行

安心して働き続けられる職場を！ 久慈支部 夜勤学習会

7月11日久慈支部で「夜勤専従看護師・補助者夜勤問題を考える」と題し、中野委員長を講師に学習会が開催されました（支部・本部10名の参加）。

学習会では、職場討議資料を使い、夜勤専従看護師試行導入までの経過と、なぜ組合は反対なのか、定期大会で出された現場の声、今後の取り組みなどを説明。久慈病院でも夜勤専従の試行がされており、9回夜勤発生はないものの、日勤者の余裕がない現状が出されました。安心して働き続けられる職場にしていくため、大幅増員が必要であり、これから9月まで「『県立病院



真剣に講義を受ける参加者

の職員定数拡大・大幅増員』を求める請願署名」を全組合員が一丸とって取りくもうと確認しました。

為」を示しながら説明しました。



参加者からは、「看護師の地位向上になるのではと大きな勘違いをしていた」「私たちは看護師だから看護の充実を求めている。医師不足の肩代わりをしたくない」等の感想が寄せられました。

日本赤十字看護大学名誉

教授の川島みどりさんは「研修制度に名を借りた医師の絶対的医行為の委譲に偏った看護業務拡大は、限りある社会資源（『看護』の無駄づかいです」と述べています。

制度化には、まだ一定の時間がかかります。看護とは何かを問い直し、現場から反対の声を上げていきましょう。

てんやま

去年はゴーヤでグリーンカーテンを造りました。遮光にもなり、ゴーヤも美味しく食べられて良かったので、今年も早速ゴーヤの苗を買ってきました。

東和支部 はなみずき

異動して約2ヶ月、異動先の地で休日は美味しい食べ物を食べ歩くのが楽しみです。美味しい物を食べて、仕事に励みたいと思います。

大船渡支部 とろぼっち

頑張るのが当たり前の世代ですが、当たり前だからこそ頑張りに気づいて欲しい中高年です。そうそうお互いに言ってみようか、「お父さん、ありがとう。おかげで子供も十分育ちました。」子育てお互い頑張ったよね。

中央支部 みっちゃん

世の中、アベノミクス効果で、少しずつ給料も上がり、プチ贅沢している人達もいるようですが、私達は給料も下がり、とても苦しいのに何がアベノミクスでしょうか!!

南光支部 よっちママ

6月は誕生月です。誕生日って、うれしいような悲しいような...どんどん夜勤がきつくなる年齢になりました。誕生日は母受難の日。とりあえず母に感謝ですね。

磐井支部 ヘガ

当選者発表

6月号パズル

6月号パズル「まちがい7つ」には20名の応募があり、19名の方が正解でした。厳正なる抽選の結果、次の10名が当選されましたので図書カードを贈ります。

〇〇〇〇(宮古支部)

■6月号当選者(敬称略)

匿名希望(二戸支部)

マグナム、オランジーナ

ぶちぶち(中央支部)、は

なみずき(東和支部)、ず

ん(江刺支部)、子育ての

時間が欲しいNs(磐井

支部)、とろぼっち、ゆ

う太郎(大船渡支部)、〇

暑くなってきました!今年はどうな夏が来るのでしょうか。とりあえず暑さに負けないで頑張りました。

大船渡支部 ゆう太郎



とんがらし

今では当たり前前となった携帯電話。車載型以外では、80年代半ばにNTTが発売した「シヨルダーホン」がその先駆け。重量が3kgもあり、

その名の通り肩に掛けて持ち運ぶものだった。90年代以降、メール・着メロ機能などにより爆発的に普及したが、当時誰が今あるお財布機能やネットショッピングを予測していただろうか。人類の探求心と創造力は計り知れない▼携帯電話やパソコンなどのインターネット環境の充実と共に、コミュニケーションの有り方も変化した。小中学生においては、携帯電話を持つていないと誘ってもらえず、仲間はすれにされることも聞く。今や携帯電話は、いじめられないための必須アイテムかもしれない。一方では「学校裏サイト」と呼ばれる、ネット掲示板へ

の誹謗中傷の書き込みなど、教師の目が届かない所での「いじめ」も社会問題化しつつある▼ネット環境の変化による影響は、何も子ども達に限ったことではない。出会い系サイトは言うに及ばず、LINEなどの通信アプリを介して知り合いとなり、犯罪などのトラブルに巻き込まれるケースも増加している。多くの場合ツールを使いこなしているのは若者達であり、未成年の少年少女らが、チャットでの口論から殺害に至った事件は記憶に新しい▼情報の取り扱いも大きく様変わりした。ビッグデータと呼ばれる買い物履歴や乗降記録などの情報が、マーケティング上で益々重要視されるようになった。海外ではアメリカの元CIA職員が、米政府の不正な情報収集を告発し国際問題となつていく。個人情報保護と国益の狭間で、利便性優先で発展してきた社会に今警鐘が鳴っている。(す)

野球観戦と温泉ツアー

仙台クリネックススタジアムで

楽天 vs 日本ハム戦
& 華乃湯(秋保温泉)



9月7日(土)~8日(日)

今年の女性部バスツアーは、野球観戦と温泉ツアー。楽天・田中、日ハム・大谷のプレーを間近で見よう！その後は、温泉で疲れを癒しましょう！



職場川柳

- ◇もう待てない 力を一つに 増員署名
(楽しく働きたいナース)
- ◇参院選 ホンネは「勝利」の その後に
(9条変えたい安倍首相)
- ◇暑い夏 原発無くても 困りません
(原発再稼働に反対する市民)
- ◇増員を 求めて海でも ヒトデ探し
(休めないナース)
- ◇夜勤だけ 健康管理 自己責任
(夜勤専従を希望する若者)

懸賞パズル

上下どちらかの絵に7つの間違い箇所の印をつけ、ハガキに貼付して、応募して下さい。正解者の中から、抽選で10名の組合員に図書カードを送ります。送りは先着順020010023 盛岡市内丸11-1、県医労「懸賞パズル」係まで。締切は8月末日(必着)です。また、抽選には関係ありませんが、ハガキの余白に一つ



まちがいは7つ



ぶやき」(職場の話題など何でも)を、ぜひ一言お書き下さい。県医労新聞で紹介する場合があるので、匿名希望の方は必ずペンネームをお書きください。ただし、当選した場合は、記念品の送り先が必要となりますので、支部名・本名の記入をお忘れなく！

8月の予定

- 3日(土) 県医労夜勤専従看護師学習会(県民会館)
- 6日(火)~9日(金) 原水爆禁止世界大会(長崎)
- 10日(土)~12日(月) 全国保育合同研究集会 in 神奈川
- 21日(水) 県医労給食問題研究会(アイーナ806)
- 23日(金)~25日(日) 全国アクトインサマー in 広島
- 23日(金)~28日(水) 岩手平和美術展(マリオス)
- 24日(土) 支部長会議(県民会館)
- 24日(土)~25日(日) 第59回日本母親大会 in 東京
- 31日(土)~9月1日(日) 岩手医労連第66回定期大会(愛真館)

9月の予定

- 1日(日) 岩手医労連第66回定期大会(2日目)
- 4日(水)~5日(木) 日本医労連看護交流集会(静岡・伊東)
- 7日(土) いわて労連第25回定期大会(盛岡市)
- 7日(土)~8日(日) 県医労女性部バスツアー(仙台)
- 9日(月) 県医労看護部会(県民会館)
- 20日(金) 支部長会議(県民会館)
- 21日(土)~22日(日) 日本医労連共済組織拡大推進全国集会(北九州市)
- 28日(土)~29日(日) いのちと健康を守る東北セミナー in 秋田